

市原市で早期乾田直播栽培の播種実演会を開催

～省力化技術導入による規模拡大を目指して～

千葉農業事務所改良普及課 令和6年3月26日発

市原市では、水稻生産者の減少により、今後の担い手となる生産者に農地が集まり、1戸当たりの栽培面積が拡大しています。通常の栽培方法（移植栽培）だけでは、4～5月に作業が集中するため、規模拡大を図ることが難しい状況です。早期乾田直播栽培は、これより早い3月中旬、水を入れる前の水田に種子をまく方法で、移植栽培で必要な育苗、代かきを省略できるとともに、ほ場作り、播種の作業分散ができます。

そこで農業事務所は3月16日に、本栽培への理解を深めるため、播種実演会を開催したところ、水稻生産者9名が参加しました。播種機の実演及び栽培技術の説明を行ったあと、参加者は、栽培や播種機の特徴について意見交換しました。参加者からは、「実際に見ることで栽培の特徴が分かった」、「播種速度が速くて驚いた」との意見が聞かれました。

今後も農業事務所では水稻経営体の経営安定に向けた支援をしていきます。



播種機の実演の様子



展示ほ場を前に活発な意見交換